

プログラム

公演時間：1時間20分（休憩を含む）

（Aプログラム）

- ①狂言のお話
- ②鬼瓦（20分）出演者2名
— 休憩 10分 —
- ③盆山（15分）出演者2名
- ④和泉元彌氏によるトーク&ワークショップ

（Bプログラム）

- ①狂言のお話
- ②仏師（25分）出演者2名
— 休憩 10分 —
- ③盆山（15分）出演者2名
- ④和泉元彌氏によるトーク&ワークショップ



鬼瓦
久しぶり在京の大名が帰郷するにあたって、因幡堂の舞姫如來へ参詣する途中、鬼瓦を見て因元の妻を思い出す。



盆山
盆山の蔭に隠れた盗人は、その家の主人から、犬だ、猿だとからかわれ、最後には銅だと言われ、飛び跳ねながら逃げる。

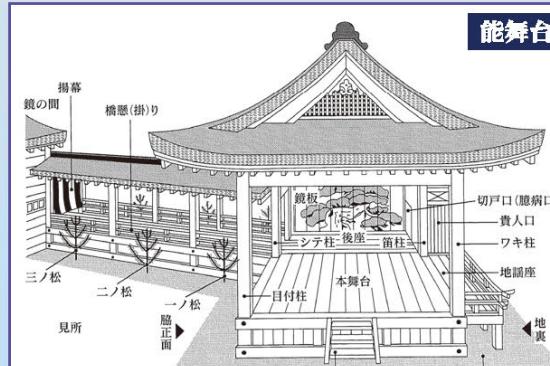


仏師
仏像を求めて都に上がった田舎者に、仏師と称してすばが近づき、前金を取つてから、自分が仏像になりますが…。



かずさかわらべーとーぽか
かずさかわらべーとーぽか

日本室町化計町



狂言を楽しんで頂くときに、能楽堂の仕組みを知つていただくと、興味がひと味違います。
現在は、能舞台の設置も可能なので、体育館等のスペースを活用した公演も可能です。



狂言らいぶ

狂言は世界最古の喜劇

日本へうしは、時代によって変わらぬかもしれないが、いつの時代にも通じる日本人の性

はあるのではないかと私は思っています。例えば、豊かに与えられた日本の四季の中で、日本

人の感性は育つきました。一見この季節感からほほり笑ひようと思える笑いのセイバ、実は日

本の自然観や季節感から生まれてきています。狂言を演じているとそれがよくわかるのです。

日本人はもつともうと感性豊かに笑っていたのです。狂言は美しい芸能です。狂言を観れば、

昔の日本がわかります、日本人の感性がわかります。

狂言の生まれた室町時代の人々は、現代の私たち以上にむかと暮らしを楽しんでいました。

たとえば歌を詠むことなどもそのひとつです。歌を詠んだ経験のある方などはおわかりだと

思いますが、歌を詠むうとすると、急に自然が身近に感じてくるから不思議です。歌を詠み、

語を語り、舞を舞う。能舞台が野外にあつたことも、自然をみんなで楽しんだいた証拠です。

歌を詠んだり、舞を舞つたりが現代の日本の常識のようになつたことをなれば、狂言の舞台

もぐんと身近に感じていただけのはずです。若者がさらりと語を語つたりしたら、どんなに

かっこいいださうだと思います。でも何七歌を詠まなくとも狂言を聴いていただくだけで、日本人がもともと持つていた感性を感じて頂けます。

古典芸能と聞えど、難しくなく、あくまで「楽しむ」

狂言の舞台が広まつてもらえば、「日本室町化

計画」と名付けました。この室町時代の感覚や感

性を狂言を通して、「美しい」とともに「皆様に伝えて」いくことができる幸いです。

狂言は、室町時代の日常語による会話劇。
その室町口語は現代日本語の基礎と言われています。
だから時代を超えてわかる！笑える！



今、私たちが演じているこの舞台を
600年前の日本人が観ていたと
想像するだけでワクワクします。
このワクワクドキドキ感を一人でも
多くの方々に感じて頂けたらと思います。
このワクワクドキドキ感を一人でも
想像するだけでワクワクします。

プロフィール

和泉元彌（和泉流 十世宗家）



24歳で、先代19世宗家・故和泉元秀（重要無形文化財保持者）より、和泉流宗家のために許された「子相伝の芸を繼承」以後、映画出演を行ない、司会者や俳優として活躍の場は多岐にわたり、狂言の世界にとどまらず多くの分野からも注目される。「自分を通じて狂言に興味を持ててもらえれば幸せ」という姿勢のとおり、彼を通じて狂言を知った人も少なくありません。

近年においては、狂言が身近にある芸能にな

るよう、毎月の自主公演と和泉流・波谷狂言ラ

イブなどと共に、全国の自治体主催の公演、

学校公演を主軸に活動し、また伊勢神宮を初

めとする、奉納狂言も精力的に行なっています。

24歳で、先代19世宗家・故和泉元秀（重要無

形文化財保持者）より、和泉流宗家のために許さ

れた「子相伝の芸を繼承」以後、映画出演を行

なめ、司会者や俳優として活躍の場は多岐にわ

たり、狂言の世界にとどまらず多くの分野から

も注目される。「自分を通じて狂言に興味を持

てもらえれば幸せ」という姿勢のとおり、彼

を通じて狂言を知った人も少なくありません。

近年においては、狂言が身近にある芸能にな

るよう、毎月の自主公演と和泉流・波谷狂言ラ

イブなどと共に、全国の自治体主催の公演、

学校公演を主軸に活動し、また伊勢神宮を初

めとする、奉納狂言も精力的に行なっています。

24歳で、先代19世宗家・故和泉元秀（重要無

形文化財保持者）より、和泉流宗家のために許さ

れた「子相伝の芸を繼承」以後、映画出演を行

なめ、司会者や俳優として活躍の場は多岐にわ

たり、狂言の世界にとどまらず多くの分野から

も注目される。「自分を通じて狂言に興味を持

てもらえれば幸せ」という姿勢のとおり、彼

を通じて狂言を知った人も少なくありません。

十世・三宅藤九郎



「狂言」の小猿役で初舞台。その後、先代

9

世

・

三

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九

・

九